

地域雇用活性化推進事業 改善計画(令和●年度実績)

協議会名 ○○○協議会

事業開始年月 令和○年○月

※表中の網掛けセルは、自動計算のため入力不要(計算式を加工しないこと)。

●「C 就職促進の取組」

NO.	対象となるメニュー名	アウトプット			アンケート満足度(参考値)			アウトカム			アウトプット実績	アウトカム実績
		計画	実績	達成率	全体数	「役立った」と回答した	満足度	計画	実績	達成率	改善計画等該当	改善計画等該当
	UIJターン企業説明会	15社	11社	73%	10人	2人	20%	10人	0人	0%	-	改善計画必要
		15人	4人	27%	10人	2人	20%				改善計画必要(継続不可審査対象)	

※アウトプット、アンケート満足度について、1段目を事業所側、2段目を求職者側で数値を入力すること。

1 アウトプットに係る低調要因の検証と改善策

※事業所、求職者それぞれの観点で記載すること

①検証項目	②検証結果 適切:○ 適切でない:×	③②で適切でないとした具体的な理由(問題点)	④ ③の問題点等に対する改善策の具体的な内容
(1) 準備	×	開催の3か月前に企画立案に取りかかり、2か月前に日程調整及び会場選定を行ったが、会場選定を始めるのが遅かったため、空いている会場が少なく会場決定するまで難航し、その後の周知期間が短くなってしまった。	【全体対応】 会場は少なくとも4か月前に決定できるよう、企画立案は6か月前から着手する。また、日程調整の段階で市の移住担当部署と連携の上、進めていく。
(2) 周知	×	準備期間が短かったため、周知期間も十分に取ることができず、求職者の申込が低調となった。特にUIJターン者は移動手段の確保が必要のため、現地開催の場合、最低でも1か月の周知期間は必要であった。	【全体対応】 参加事業所の選定・決定については2か月前には終わらせ、求職者向けの周知を1か月前には開始する。また、企業説明会があることを選んでも2ヶ月前には選考して周知を行えるよう、案内を作成する。
	×	協議会HPや市のHPだけではUIJターン者への周知に苦戦した。申込がなかったため、市の移住担当部署へ相談し何とか参加者が増えたが、最初の段階から連携をとって周知を行うべきであった。	【全体対応】 市の移住担当部署と情報交換を行うなど、密に連携し、雇用だけでなく住環境の情報も併せて発信する。周知ツールでは、HPだけでなく、SNSを活用し関東方面を対象にSNS広告を発信する。 【企業への対応】 参加企業において目標数には達していなかったため、個別訪問し参加を促す。 【求職者への対応】 求職者を集めるために、東京のUIJターンイベントに協議会も参加し、雇用の観点からPRする。そのイベントに参加した人を中心にDMや電話等で企業説明会があることを周知する。
(3) セミナー内容	×	求職者から「午後の開催の方が参加しやすい」といった声があり、UIJターン者向けにも関わらず、当日の移動を考慮した開催時間を設定できていなかった。また、1回の開催で参加日が選択できなかったことも要因であったと考えている。	【求職者への対応】 就労者も参加しやすいよう、金曜夕方と日曜日午後の開催数を増やし、参加日を選択できるようにする。また、現地開催ではなくオンライン開催とし、求職者の参加へのハードルを下げる。
	×	参加者がそれぞれ興味のある企業ブースへ訪問する形式としたが、UIJターン者にとって認知度の低い企業だったため、企業ブースに誰も来ないという状況があった。また、協議会HPやチラシでも企業の説明が不足していたことから求職者のアウトプットに繋がらなかった。	【全体対応】 各企業ブースの説明前に、全体で移住支援の紹介及び参加企業のプレゼンタイムの時間を設ける。 【企業への対応】 参加企業のプレゼンタイムを新たに設ける際、プレゼン内容を事前に協議会に提出してもらい、内容のアドバイスをし、短い時間の中でも企業を知ってもらうための工夫をする。 【求職者への対応】 事前にHPで企業のPR内容を掲載し、求職者に興味関心を持ってもらえるよう工夫をする。また、当日配布する資料には、各企業を比較できるような給料やライフワークバランスに係る統一項目をいくつか盛り込む。
(4) その他(上記以外の要因)	×	関東圏の30代～60代の求職者をメインターゲットとしていたが、求職者にとっては他地域の選択肢もある中でターゲットを絞ってしまったことから、アウトプットが低調になったと考える。	関東圏のUIJターン者だけではなく大学4年生もターゲットに設定し、県内や近隣の大学生に対して、企業説明会の日程確定前に、協議会職員が大学を訪問し、大学の担当者や直接大学生のニーズを聞き取り、またその際に当メニューについても案内をする。開催時期も大学生の就職活動期間の実態に合わせ、他の就職説明会と日程が被らないよう調整する。

2 アウトカムに係る低調要因の検証と改善策

①検証項目	②検証結果 適切:○ 適切でない:×	③②で適切でないとした具体的な理由(問題点)	④ ③の問題点等に対する改善策の具体的な内容
(1) セミナー内容	×	企業ブースに訪問した求職者にアンケートをとったところ、他の地域と迷っていると回答した人がいたため、雇用のアプローチだけでなく、移住に関する情報提供が不足していた。また、企業のPR内容が弱かったことも要因の1つである。	【企業への対応】 参加者に対し企業に聞きたいことを事前アンケートで聞き、その内容について説明会で回答する。また、企業のPR内容について、希望する企業に対し事前に説明内容を見た上でアドバイスやレクチャーを行う。 【求職者への対応】 市の移住担当部署による移住説明の時間を作り、また企業ブースのほか移住に関する質問ブースも設け、市との連携を
(2) 参加者へのフォローアップ	×	求職者のアンケートでは、就職(転職)希望時期について「特に決めていない」と回答した人がいたため、短期間でのアウトカムに繋げることが困難であった。	【企業への対応】 終了後に企業に直接訪問する等、企業ブースに来た人に対するフォロー(自社説明会・企業見学会・就労体験の場)を積極的に設けるよう促す。 【求職者への対応】 アンケートなどから就職希望時期や就職(転職)意欲が高い求職者に対して、フォローアップとして、希望職種や条件の聞き出しを行い、地域内企業を紹介する。また、意欲の低い求職者に対しては次年度以降のアウトカムに繋げるため、定期的に企業説明会や移住相談会等の情報を提供する。
(3) その他	×	企業説明会に参加した求職者に対し、電話やメールで後追い調査を行ったが、そのうち2名から返答がなく、特に電話については何度かしても出してもらえず、採用報告が少なかったことが要因として考えられる。	【求職者への対応】 他地域では郵送で依頼しているとも話も聞いたため、次回は郵送で依頼し返信封筒も同封することで回答率を上げる。また、申込する際の注意書きに後追い調査の協力をお願いしているが、当日にも改めてアナウンスする。

3 (参考)メニューの必要性・有効性等に係る情報 ※「継続不可相当」に該当するメニューで継続を希望する場合は積極的に記載してください(任意)

(1) 地域における必要性有用性	地域内は過疎化及び高齢化が進み、さらに若年層は都市部へ流失する状況にある。市は移住、協議会は雇用の面から連携してUIJターン向けに働きかけることでよりアウトカムに繋げることができる。
(2) 参加者の行動変容	アウトカムが年度をまたいだ計上が可能になったことにより、今回アウトカムに繋がらなかったものの、フォローアップにより2年度目または3年度にアウトカムに繋がるケースが出てくる。今回は移住相談会に同行はしなかったが、移住相談会の参加者を協議会に案内してもらい、雇用について説明したケースでは、雇用のことについても話が聞けてより移住に前向きになったとの声があった。今後より一層、市の移住担当部署と連携しアウトカムに繋げていく。
(3) 今後のアウトカムの見通し	今年度の参加者の中で、2年以内に当県への移住を考えている人がいるため、引き続きフォローアップをし、アウトカムに繋げたい。

地域雇用活性化推進事業 改善計画(令和●年度実績)

協議会名

〇〇〇〇協議会

事業開始年月

令和〇年〇月

※表中の網掛けセルは、自動計算のため入力不要(計算式を加工しないこと)。

●「A 事業所の魅力向上、事業拡大の取組」

NO.	対象となるメニュー名	アウトプット			アンケート満足度			アウトカム			アウトプット実績	アンケート実績
		計画	実績	達成率	回答全体数	「役立った」と回答した人	満足度	計画	実績	達成率	改善計画等該当	改善計画該当
												-

1 アウトプットに係る低調要因の検証と改善策

①検証項目	②検証結果 適切:○ 適切でない:×	③②で適切でないとした具体的な理由(問題点)	④ ③の問題点等に対する改善策の具体的な内容
(1) 準備	企画立案、講師、内容の調整、周知の準備等は適切だったか	○ヶ月	
(2) 周知	期間(十分な期間が確保されていたか)	○ヶ月	
	方法(周知ツールや手法、周知先、関係機関との連携は適切だったか)	周知ツール:○○ 周知先:○○ 関係機関との連携:○○	
(3) セミナー内容	日程(時期・回数・講習時間)	○月○日、○月○日	
	内容	1日目○○ 2日目○○	
(4) その他(上記以外の要因)	自由記載		

2 アンケートに係る低調要因の検証と改善策

①検証項目	②検証結果 適切:○ 適切でない:×	③②で適切でないとした具体的な理由(問題点)	④ ③の問題点等に対する改善策の具体的な内容
(1) セミナー内容	日程(時期・回数・講習時間)	○月○日、○月○日	
	内容	1日目○○ 2日目○○	
(2) その他	自由記載		

3 (参考)メニューの必要性・有効性等に係る情報

(1)	地域における必要性有用性	
(2)	参加者の行動変容	
(3)	今後のアウトカムの見通し	

地域雇用活性化推進事業 改善計画(令和●年度実績)

協議会名

〇〇〇〇協議会

事業開始年月

令和〇年〇月

※表中の網掛けセルは、自動計算のため入力不要(計算式を加工しないこと)。

●「B 人材育成の取組」

NO.	対象となるメニュー名	アウトプット			アンケート満足度			アウトカム			アウトプット実績		アウトカム実績	
		計画	実績	達成率	回答全体数	「役立った」と回答した人	満足度	計画	実績	達成率	改善計画等該当	改善計画該当		
														-

1 アウトプットに係る低調要因の検証と改善策

①検証項目	②検証結果 適切:○ 適切でない:×	③②で適切でないとした具体的な理由(問題点)	④ ③の問題点等に対する改善策の具体的な内容
(1) 準備	企画立案、講師、内容の調整、周知の準備等は適切だったか ○ヶ月		
(2) 周知	期間(十分な期間が確保されていたか) ○ヶ月		
	方法(周知ツールや手法、周知先、関係機関との連携は適切だったか) 周知ツール:〇〇 周知先:〇〇 関係機関との連携:〇〇		
(3) セミナー内容	日程(時期・回数・講習時間) ○月○日、○月○日		
	内容 1日目〇〇 2日目〇〇		
(4) その他(上記以外の要因)	自由記載		

2 アウトカムに係る低調要因の検証と改善策

①検証項目	②検証結果 適切:○ 適切でない:×	③②で適切でないとした具体的な理由(問題点)	④ ③の問題点等に対する改善策の具体的な内容
(1) セミナー内容	内容 1日目〇〇 2日目〇〇		
(2) 参加者へのフォローアップ	行ったフォローアップの具体		
(3) その他	自由記載		

3 (参考)メニューの必要性・有効性等に係る情報

(1) 地域における必要性有用性	
(2) 参加者の行動変容	
(3) 今後のアウトカムの見通し	

地域雇用活性化推進事業 改善計画(令和●年度実績)

協議会名 ○○○○協議会

事業開始年月 令和○年○月

※表中の網掛けセルは、自動計算のため入力不要(計算式を加工しないこと)。

●「C 就職促進の取組」

NO.	対象となるメニュー名	アウトプット			アンケート満足度(参考値)		アウトカム			アウトプット実績	アウトカム実績	
		計画	実績	達成率	全体数	「役立った」と回答した	満足度	計画	実績	達成率	改善計画等該当	改善計画等該当

※アウトプット、アンケート満足度について、1段目を事業所側、2段目を求職者側で数値を入力すること。

1 アウトプットに係る低調要因の検証と改善策

※事業所、求職者それぞれの観点で記載すること

①検証項目	②検証結果 適切:○ 適切でない:×	③②で適切でないとした具体的な理由(問題点)	④ ③の問題点等に対する改善策の具体的な内容
(1) 準備	企画立案、講師、内容の調整、周知の準備等は適切だったか	○ヶ月	
(2) 周知	期間(十分な期間が確保されていたか)	○ヶ月	
	方法(周知ツールや手法、周知先、関係機関との連携は適切だったか)	周知ツール:○○ 周知先:○○ 関係機関との連携:○○	
(3) セミナー内容	日程(時期・回数・講習時間)	○月○日、○月○日	
	内容	1日目○○ 2日目○○	
(4) その他(上記以外の要因)	自由記載		

2 アウトカムに係る低調要因の検証と改善策

※事業所、求職者それぞれの観点で記載すること

①検証項目	②検証結果 適切:○ 適切でない:×	③②で適切でないとした具体的な理由(問題点)	④ ③の問題点等に対する改善策の具体的な内容
(1) セミナー内容	内容	1日目○○ 2日目○○	
(2) 参加者へのフォローアップ	行ったフォローアップの具体		
(3) その他	自由記載		

3 (参考)メニューの必要性・有効性等に係る情報

(1) 地域における必要性有用性	
(2) 参加者の行動変容	
(3) 今後のアウトカムの見通し	

地域雇用活性化推進事業 改善計画(令和●年度実績)

協議会名

〇〇〇〇協議会

事業開始年月

令和〇年〇月

※表中の網掛けセルは、自動計算のため入力不要(計算式を加工しないこと)。

●「A 事業所の魅力向上、事業拡大の取組」

NO.	対象となるメニュー名	アウトプット			アンケート満足度			アウトカム			アウトプット実績	アンケート実績
		計画	実績	達成率	回答全体数	「役立った」と回答した人	満足度	計画	実績	達成率	改善計画等該当	改善計画該当
												-

1 アウトプットに係る低調要因の検証と改善策

①検証項目	②検証結果 適切:○ 適切でない:×	③②で適切でないとした具体的な理由(問題点)	④ ③の問題点等に対する改善策の具体的な内容
(1) 準備	企画立案、講師、内容の調整、周知の準備等は適切だったか	○ヶ月	
(2) 周知	期間(十分な期間が確保されていたか)	○ヶ月	
	方法(周知ツールや手法、周知先、関係機関との連携は適切だったか)	周知ツール:〇〇 周知先:〇〇 関係機関との連携:〇〇	
(3) セミナー内容	日程(時期・回数・講習時間)	○月○日、○月○日	
	内容	1日目DX基礎 2日目DX基礎の演習	
(4) その他(上記以外の要因)	自由記載		

2 アンケートに係る低調要因の検証と改善策

①検証項目	②検証結果 適切:○ 適切でない:×	③②で適切でないとした具体的な理由(問題点)	④ ③の問題点等に対する改善策の具体的な内容
(1) セミナー内容	日程(時期・回数・講習時間)	○月○日、○月○日	
	内容	1日目〇〇 2日目〇〇	
(2) その他	自由記載		

3 (参考)メニューの必要性・有効性等に係る情報

(1)	地域における必要性有用性	
(2)	参加者の行動変容	
(3)	今後のアウトカムの見通し	

地域雇用活性化推進事業 改善計画(令和●年度実績)

協議会名

〇〇〇〇協議会

事業開始年月

令和〇年〇月

※表中の網掛けセルは、自動計算のため入力不要(計算式を加工しないこと)。

●「B 人材育成の取組」

NO.	対象となるメニュー名	アウトプット			アンケート満足度			アウトカム			アウトプット実績	アウトカム実績
		計画	実績	達成率	回答全体数	「役立った」と回答した人	満足度	計画	実績	達成率	改善計画等該当	改善計画該当
												-

1 アウトプットに係る低調要因の検証と改善策

①検証項目	②検証結果 適切:○ 適切でない:×	③②で適切でないとした具体的な理由(問題点)	④ ③の問題点等に対する改善策の具体的な内容
(1) 準備	企画立案、講師、内容の調整、周知の準備等は適切だったか	〇ヶ月	
(2) 周知	期間(十分な期間が確保されていたか)	〇ヶ月	
	方法(周知ツールや手法、周知先、関係機関との連携は適切だったか)	周知ツール:〇〇 周知先:〇〇 関係機関との連携:〇〇	
(3) セミナー内容	日程(時期・回数・講習時間)	〇月〇日、〇月〇日	
	内容	1日目〇〇 2日目〇〇	
(4) その他(上記以外の要因)	自由記載		

2 アウトカムに係る低調要因の検証と改善策

①検証項目	②検証結果 適切:○ 適切でない:×	③②で適切でないとした具体的な理由(問題点)	④ ③の問題点等に対する改善策の具体的な内容
(1) セミナー内容	内容	1日目〇〇 2日目〇〇	
(2) 参加者へのフォローアップ	行ったフォローアップの具体		
(3) その他	自由記載		

3 (参考)メニューの必要性・有効性等に係る情報

(1) 地域における必要性有用性	
(2) 参加者の行動変容	
(3) 今後のアウトカムの見通し	

地域雇用活性化推進事業 改善計画(令和●年度実績)

協議会名 ○○○○協議会

事業開始年月 令和○年○月

※表中の網掛けセルは、自動計算のため入力不要(計算式を加工しないこと)。

●「C 就職促進の取組」

NO.	対象となるメニュー名	アウトプット			アンケート満足度(参考値)		アウトカム			アウトプット実績	アウトカム実績	
		計画	実績	達成率	全体数	「役立った」と回答した	満足度	計画	実績	達成率	改善計画等該当	改善計画等該当

※アウトプット、アンケート満足度について、1段目を事業所側、2段目を求職者側で数値を入力すること。

1 アウトプットに係る低調要因の検証と改善策

※事業所、求職者それぞれの観点で記載すること

①検証項目	②検証結果 適切:○ 適切でない:×	③②で適切でないとした具体的な理由(問題点)	④ ③の問題点等に対する改善策の具体的な内容
(1) 準備	企画立案、講師、内容の調整、周知の準備等は適切だったか	○ヶ月	
(2) 周知	期間(十分な期間が確保されていたか)	○ヶ月	
	方法(周知ツールや手法、周知先、関係機関との連携は適切だったか)	周知ツール:○○ 周知先:○○ 関係機関との連携:○○	
(3) セミナー内容	日程(時期・回数・講習時間)	○月○日、○月○日	
	内容	1日目○○ 2日目○○	
(4) その他(上記以外の要因)	自由記載		

2 アウトカムに係る低調要因の検証と改善策

※事業所、求職者それぞれの観点で記載すること

①検証項目	②検証結果 適切:○ 適切でない:×	③②で適切でないとした具体的な理由(問題点)	④ ③の問題点等に対する改善策の具体的な内容
(1) セミナー内容	内容	1日目○○ 2日目○○	
(2) 参加者へのフォローアップ	行ったフォローアップの具体		
(3) その他	自由記載		

3 (参考)メニューの必要性・有効性等に係る情報

(1) 地域における必要性有用性	
(2) 参加者の行動変容	
(3) 今後のアウトカムの見通し	